

株式会社アーレスティ

2013年3月期 第2四半期 決算説明資料



2012年11月28日

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。

ご説明内容

- ◆ TOPICS
- ◆ 2013年3月期第2四半期決算概況及び
今期見通しについて

TOPICS

■2012年

- 3 月 アーレスティメヒカーナ工場拡張工事着工
- 4 月 合肥アーレスティ加工工場完成
- 5 月 広州アーレスティ隣接地での工場建設着工
- 6 月 アーレスティメヒカーナ金型工場拡張工事着工(竣工12月中旬予定)
- 10月 アーレスティメヒカーナ鋳造、加工工場拡張工事竣工
- 12月 合肥アーレスティ拡張工事着工予定(竣工2013年5月予定)
隣接預留地20,500㎡を取得予定
- 12月中旬 アーレスティメヒカーナ金型工場拡張工事竣工予定

アーレスティメヒカーナ工場拡張

Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.

■鋳造工場、加工工場を拡張

2012年3月着工
10月竣工

2013年初めにかけて

(工場面積) 土地 100,000㎡ 建屋 32,200㎡

※内、増築面積: 鋳造工場・加工工場2,600㎡、金型工場1,200㎡予定

■金型工場を拡張

2012年6月着工
12月竣工予定

(鋳造能力) 月産 2100t(DCマシン 21台)

※内、増強能力 月産400t(DCマシン 4台)

(機械加工ライン) 25ライン予定 ※現在22ライン稼働



アーレスティメヒカーナ拡張工事完成予想図

合肥アーレスティの増築

合肥阿雷斯提汽车配件有限公司

2010年 8月 合肥アーレスティ設立
 2011年 7月 稼動開始
 2011年10月 第2期工事(加工工場)着工
 2012年 4月 加工工場完成
 2012年12月 第3期工事着工予定
 2013年 5月頃 // 竣工予定



第3期工事箇所

2013年5月にかけて

(工場面積)

土地 50,500㎡

建屋面積 21,700㎡

(鑄造能力)月産 700t (DCマシン) 7台



地鎮祭の様子(2012年10月)

内、第3期工事 鑄造工場 4,750㎡ 加工工場 3,000㎡
 増強能力月産 200t(DCマシン2台) 隣接の預留地より、20,500㎡を取得



5

広州アーレスティ新工場建設

広州阿雷斯提汽车配件有限公司

2011年に取得した隣接地へ
 新工場を建設

■新工場建設第1期工事

2012年 5月新工場建設着工

2013年 3月竣工予定

■工場面積

第1工場

土地 43,000㎡ 建屋 26,300㎡

第2工場

土地 17,700㎡ 建屋 10,400㎡

新工場

土地 21,100㎡ 建屋 16,000㎡(第1期)

建屋 8,700㎡(第2期)

※ 第2期工事:2013年2月着工10月末竣工予定
 (鑄造能力) 月産 2600t (DCマシン 31台)



新工場工事の様子
 (2012年11月時点)

借りている3つの工場を
 新工場に集約し物流等
 の効率化を図る



広州アーレスティ隣接地の新工場完成予想図



6

第2四半期決算概況 及び今期見通しについて



2013年3月期第2四半期 決算のポイント

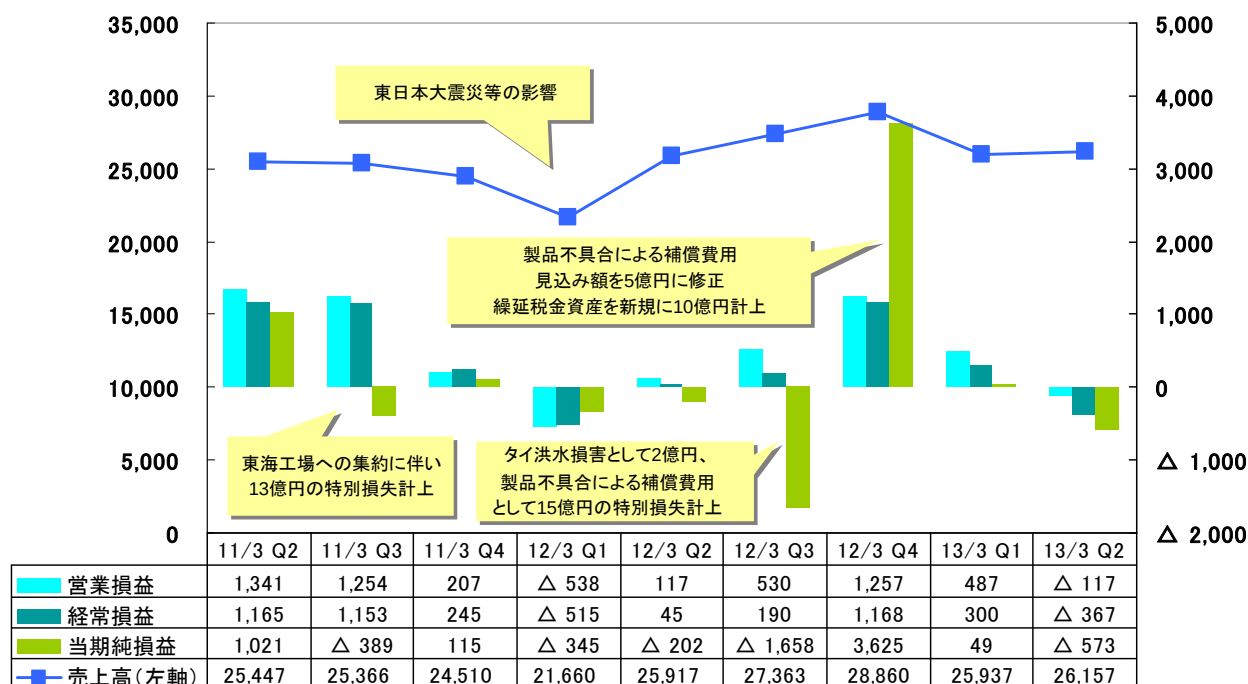
(単位: 百万円)

	2012年3月期 上期		2012年3月期 下期		2013年3月期 上期		前年 同期比	前年 下期比
売上高	47,577	100%	56,223	100%	52,094	100%	+9.5%	△7.3%
営業利益	△ 421	△0.9%	1,787	3.2%	370	0.7%	-	△79.3%
経常利益	△ 470	△1.0%	1,358	2.4%	△ 67	△0.1%	-	-
当期純利益	△ 547	△1.2%	1,967	3.5%	△ 524	△1.0%	-	-
EPS	△ 25.39		91.23		△ 24.33		-	-

- ◆ 売上高: 東日本大震災及びタイ洪水の影響からの回復、国内エコカー補助金影響等により、売上高は520億円(前年同四半期比9.5%増)となった。前年下期比では海外売上高は増加しているものの国内売上高が減少し連結売上高は7.3%減となった。
- ◆ 営業利益: メキシコの増産対応遅れ挽回費用を削減するも、インド及び中国合肥への先行投資による固定費増、東海工場集約の一時的な費用増等により営業利益は3億7千万円に留まった。前年下期比では主に国内売上高の減少、アジアでの先行投資の影響等により営業利益は79.3%減となった。
- ◆ 前年同四半期比では増収増益となったものの、前年下期比では減収減益となった。

連結決算概要(四半期別)

単位：百万円



9

今期見通し

(単位：百万円)

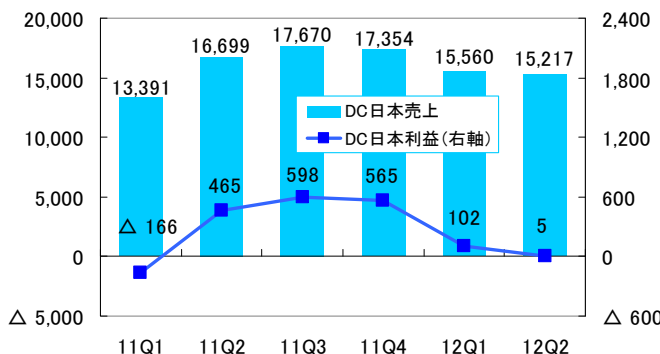
	2012年3月期 実績	2013年3月期 8/6修正計画	2013年3月期 10/29修正計画	対8/6計画 増減	対8/6計画 増減率
売上高	103,800	111,000	107,700	△ 3,300	△ 3.0%
ダイカスト日本	65,114	64,800	63,900	△ 900	△ 1.4%
ダイカスト北米	18,761	21,200	21,400	200	0.9%
ダイカストアジア	13,723	19,300	17,100	△ 2,200	△ 11.4%
アルミニウム	3,744	3,800	3,800	0	—
完成品	2,455	1,900	1,500	△ 400	△ 21.1%
営業利益	1,366	2,250	750	△ 1,500	△ 66.7%
ダイカスト日本	1,463	1,450	1,000	△ 450	△ 31.0%
ダイカスト北米	314	800	400	△ 400	△ 50.0%
ダイカストアジア	△ 504	△ 150	△ 750	△ 600	—
アルミニウム	△ 42	100	100	0	—
完成品	72	50	0	△ 50	△ 100%
消去または全社	62	0	0	0	—
経常利益	888	1,600	△ 50	△ 1,650	△ 103.1%
当期純利益	1,420	800	△ 450	△ 1,250	△ 156.3%



10

決算概要 ダイカスト日本(11下期→12上期)

ダイカスト日本売上高／営業利益の推移

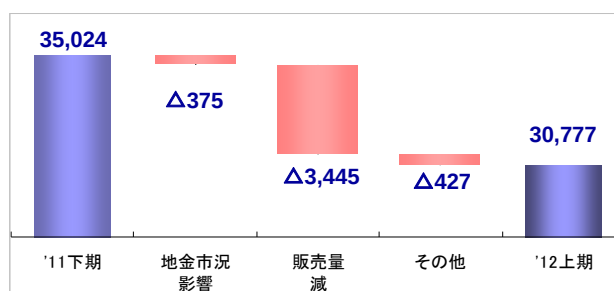


前年下期との比較では、販売量の減少及び製品ミックス等の影響により、セグメント売上高は12.1%減。

セグメント利益は、売上減を見越し、原価低減活動を推し進めたものの、付加価値減少を吸収するには及ばず1億円に留まった。

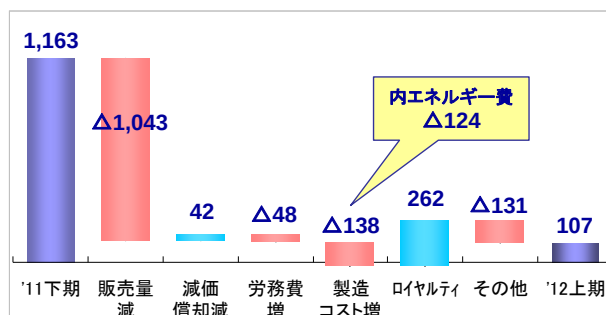
売上高増減要因

(百万円)



セグメント損益増減要因

(百万円)



今期見通し(ダイカスト日本)

(単位: 百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 8/6修正計画	2013年3月期 10/29修正計画	対8/6計画 増減	対8/6計画 増減率
売上高	103,800	111,000	107,700	△ 3,300	△ 3.0%
ダイカスト日本	65,114	64,800	63,900	△ 900	△ 1.4%
営業利益	1,366	2,250	750	△ 1,500	△ 66.7%
ダイカスト日本	1,463	1,450	1,000	△ 450	△ 31.0%

(単位: 百万円)

売上高

エコカー補助金終了の反動の影響により、前回計画よりも販売量が減少し9億円減。

営業利益

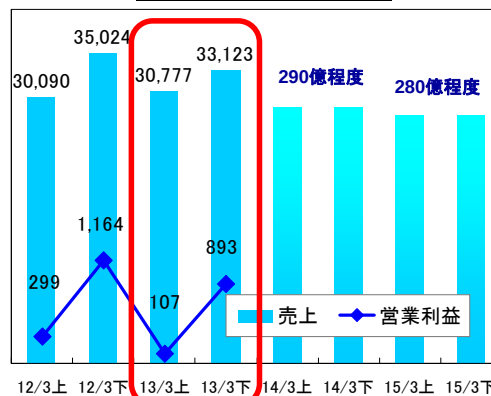
主な下方修正の要因は、販売量減少の影響及び東海工場集約に伴う一時的な費用増による。

なお、東海工場の集約については、来春の完了予定で計画通り進めている。

来期以降

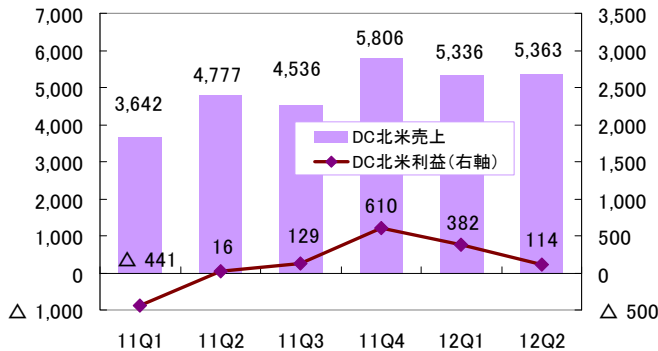
今期の当初計画に対する収益性改善の遅れは、修正計画に基づく生産性改善(統合効果含む)により来期で挽回し、売上高が減少していく中で収益性を改善し、一定の利益を確保する。

ダイカスト日本 実績と計画



決算概要 ダイカスト北米(11下期→12上期)

ダイカスト北米売上高／営業利益の推移



アメリカ: 売上高は増加し、一定の利益水準を維持。

メキシコ: 主に受注製品の機種変更に伴う数量減及び付加価値減の影響により売上高は減少。利益面では、原価低減活動を推し進めたものの、売上減少の影響を吸収するに至らず。

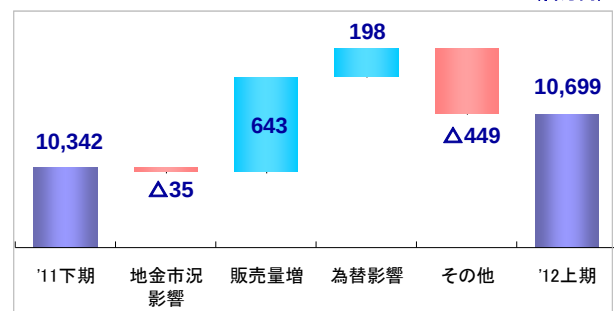
(アメリカ・メキシコ共に2012/1月よりロイヤルティ料率を変更)

※アメリカ 4-3月
メキシコ 1-12月

平均レート(11下期→12上期)
米\$ 78.21→79.42
メ\$ (米\$) 77.65→79.48

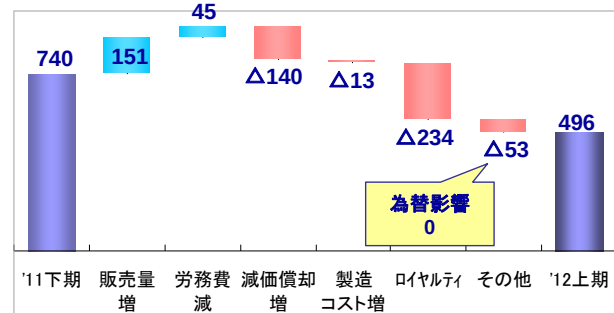
売上高増減要因

(百万円)



セグメント損益増減要因

(百万円)



今期見通し(ダイカスト北米)

(単位: 百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 8/6修正計画	2013年3月期 10/29修正計画	対8/6計画 増減	対8/6計画 増減率
売上高	103,800	111,000	107,700	△ 3,300	△ 3.0%
ダイカスト北米	18,761	21,200	21,400	200	0.9%
営業利益	1,366	2,250	750	△ 1,500	△ 66.7%
ダイカスト北米	314	800	400	△ 400	△ 50.0%

売上高

主に、アメリカの上期実績が計画を上回ったことにより、北米での通期売上高は前回計画より2億円の増。

営業利益

アメリカは、ほぼ前回計画どおりで進捗する見込み。

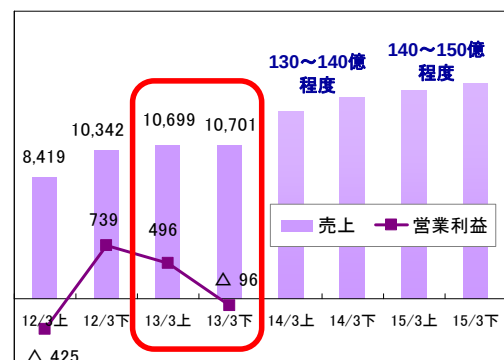
メキシコは、前期の生産対応の遅れによる費用発生を削減してきたが、下期の増産対応に伴う費用増加及び製品ミックスによる付加価値の減少から前回計画よりも減益。アメリカをベンチマークとした費用改善計画を推進。

来期以降

売上高の伸びによる効果及びメキシコの費用改善計画により、収益性を改善していく。

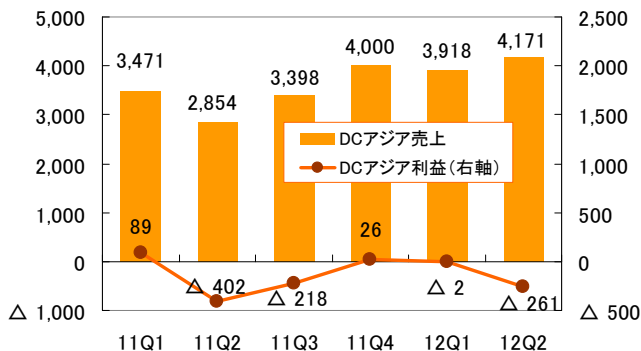
ダイカスト北米 実績と計画

(単位: 百万円)



決算概要 ダイカストアジア(11下期→12上期)

ダイカストアジア売上高／営業利益の推移



中国: 新規製品の量産本格化により売上高は増加。収益面では、合肥工場の立上げに伴う費用増があったものの、広州工場の増益で吸収。
(第2四半期時点ではロイヤルティ料率は従来どおり)

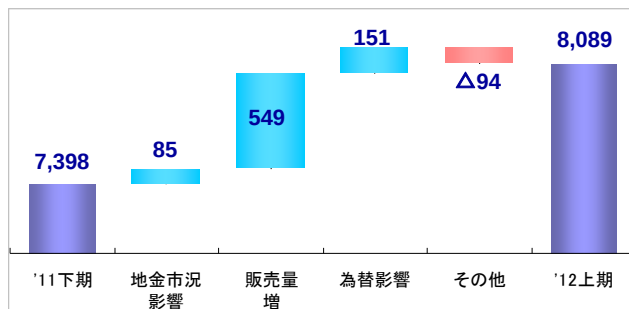
インド: 売上高は増加するも、先行投資による減価償却費増、エネルギー費増等の影響で減益。
(2012/1月よりロイヤルティ料率変更)

※中国1-12月
インド4-3月

平均レート(11下期→12上期)
人民元 12.17→12.59
インドルピー 1.56→1.47

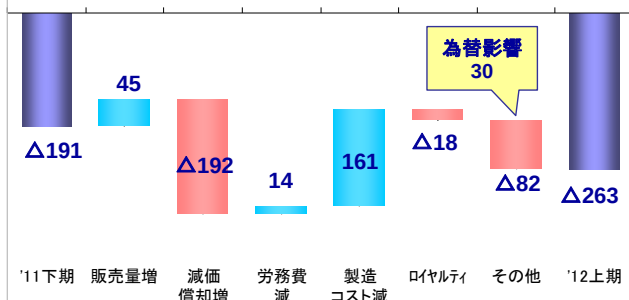
売上高増減要因

(百万円)



セグメント損益増減要因

(百万円)



今期見通し(ダイカストアジア)

(単位: 百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 8/6修正計画	2013年3月期 10/29修正計画	対8/6計画 増減	対8/6計画 増減率
売上高	103,800	111,000	107,700	Δ 3,300	Δ 3.0%
ダイカストアジア	13,723	19,300	17,100	Δ 2,200	Δ 11.4%
営業利益	1,366	2,250	750	Δ 1,500	Δ 66.7%
ダイカストアジア	Δ 504	Δ 150	Δ 750	Δ 600	-

売上高

中国及びインドの売上高は、前期比で各々24%増、45%増と増加する見込みであるものの、主に中国及びインド市場の伸びの鈍化、及び中国における9月中旬以降の日系車の販売不振の影響により、アジアの売上高は前回計画よりも22億円の減少。

営業利益

主に、前回計画より売上高が減少することに伴う固定費負担の増加により減益。

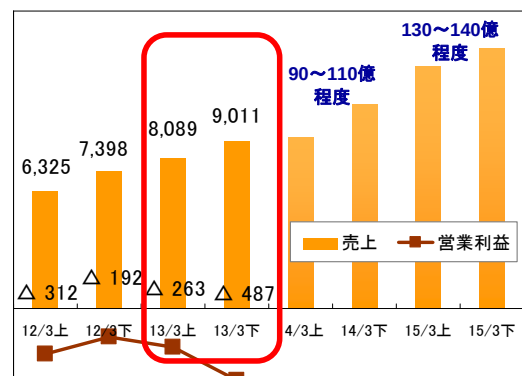
(通期では中国のロイヤルティ料率変更を加味している)

来期以降

中国での販売の先行きが不透明であるが、変動状況に対応して設備投資等を調整しつつ、収益確保に努める。

ダイカストアジア 実績と計画

(単位: 百万円)



決算概要 アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2012年3月期 上期	2012年3月期 下期	2013年3月期 上期	前年 同期比	前年 下期比
アルミニウム 事業	売上	1,758 100%	1,986 100%	1,834 100%	+4.4%	△7.7%
	営業利益	△ 23 △1.3%	△ 19 △1.0%	45 2.5%	-	-
完成品事業	売上	983 100%	1,472 100%	693 100%	△29.5%	△52.9%
	営業利益	19 1.9%	53 3.6%	△ 32 △4.6%	△268.4%	△160.4%

アルミニウム事業：市況は低迷しており単価は抑えられているものの、二次合金地金の出荷量が前年同四半期比で20.0%増となったことにより、売上高は前年同四半期比4.4%増。利益は、受注増加や、使用原材料を含む原価低減活動により、45百万円となった。

完成品事業：主要販売先である半導体関連企業の設備投資が低調なこと、及び通信会社のデータセンター向け物件の需要も低水準で推移したことにより受注が減少し、売上高は前年同四半期比29.5%減。損益は、受注減少の影響等により32百万円の赤字となった。

決算概要 貸借対照表

(単位：百万円)

	2012年3月期	2013年3月期 第2四半期	増減	
流動資産	44,486	39,814	△ 4,672	◆ 債権流動化を含む売掛金の減少により流動資産が減少
現預金	7,358	6,117	△ 1,241	
売上債権	24,541	20,513	△ 4,028	
棚卸資産	8,636	9,294	658	
固定資産	60,721	61,560	839	◆ 海外での拡大投資のため、有形固定資産が増加
有形固定資産	54,135	56,003	1,868	
資産合計	105,208	101,375	△ 3,833	◆ 四半期純利益の損失及びその他有価証券評価差額金の減少等により純資産が減少
負債合計	69,794	67,488	△ 2,306	
買入債務	18,653	17,333	△ 1,320	
長短借入金	33,348	33,742	394	
純資産合計	35,414	33,886	△ 1,528	

収益改善に向けた取り組み

◆ 収益改善（原価低減）計画の見直し

- ◆ 収益管理の強化
- ◆ 生産性向上施策の展開
- ◆ 東海工場集約による統合効果の創出
- ◆ 人材育成

◆ 中国での下期以降の売上減少への対応

- 設備投資の抑制
- 生産量減少に対応した勤務体制（生産シフト変更、残業削減等）
- 広州工場から合肥工場への生産移管計画変更

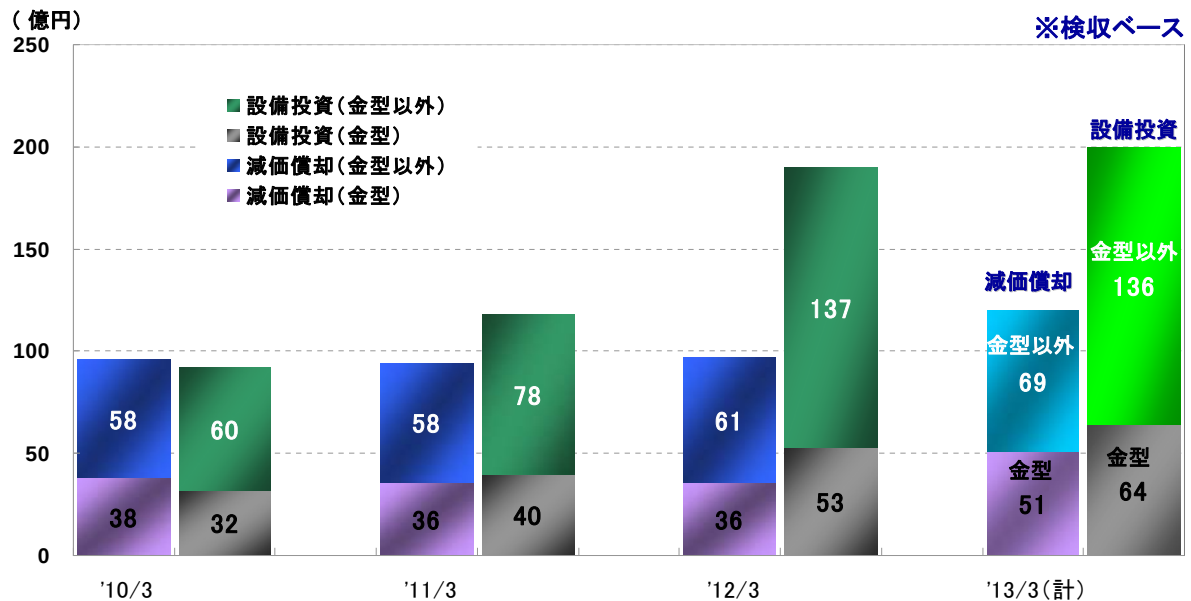
配当の状況

(単位:円)	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期	13年3月期 予想(10/29)
1株当たり配当金					
(年間)	11	5	12	6	6
中間配当	11	—	6	3	3
期末配当	—	5	6	3	3
一株当たり純損益(連結)	△ 313.8	△ 2.8	68.8	65.9	△ 20.9
配当性向(連結)	—	—	17.4%	9.1%	—

- ◆ 配当性向には配慮しつつも、今後の成長を勘案した経営資源の配分を推進

設備投資・減価償却の動向

◆ 設備投資については、中国での販売状況に応じて計画を柔軟に調整



Casting Our Eyes
on the Future

株式会社アーレスティ

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-5332-6004

E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.co.jp

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。